

静岡県教育委員会

議事録

令和5年度 第2回定例
4月19日（水）

静岡県教育委員会教育長 池上重弘は、

令和5年4月19日に教育委員会第2回定例会を招集した。

1 開催日時 令和5年4月19日（水） 開会 13時30分
閉会 13時55分

2 会場 教育委員会議室

3 出席者 教 育 長 池 上 重 弘
委 員 藤 井 明
委 員 小野澤 宏 時
委 員 後 藤 康 雄
委 員 天 城 真 美

事務局（説明員） 水 口 秀 樹 教育部長
塩 崎 克 幸 教育監
宮 崎 文 秀 理事（政策管理担当）
吉 良 光 陽 理事（新図書館担当）
本 多 伸 治 参事（学校教育担当）
井 出 好 彦 教育総務課長
秋 野 薫 教育政策課長
大 澤 篤 教育DX推進課長
上 原 啓 克 財務課長
内 山 成 一 教育厚生課長
山 川 和 成 教育施設課長
戸 塚 康 史 義務教育課長
中 山 雄 二 高校教育課長
高 橋 和 彦 特別支援教育課長
夏 目 伸 二 健康体育課長
藤ヶ谷 昌 則 社会教育課長
金 嶋 克 年 新図書館整備課長
室 伏 伸 明 静岡教育事務所長
大 根 富 木 静岡西教育事務所長
杉 山 禎 総合教育センター所長
柴 雅 房 中央図書館長

4 その他

- (1) 第2号議案は可決された。
- (2) 報告事項は了承された。

【開 会】

教 育 長： ただ今より、教育委員会定例会を開催する。
今回の議事録の署名は、私のほか、後藤委員にお願いする。

【非公開の決議】

- 教 育 長： 議案の審議に入る前に、本定例会の議案の取扱について諮る。
第2号議案は人事案件のため、非公開としたいが、異議はあるか。
- 全 委 員： 異議なし。
- 教 育 長： それでは第2号議案は非公開とする。公開案件から審議する。

報告事項1 令和3・4年度家庭教育実態調査報告

- 教 育 長： 報告事項1 「令和3・4年度家庭教育実態調査報告」について藤ヶ谷社会教育課長より説明願う。
- 社会教育課長： <報告事項について説明>
- 教 育 長： 質疑等はあるか。
- 教 育 長： 1つ改めて確認しておきたいことがある。この調査は、保護者に対してインターネットで回答を依頼したと書かれている。回答した保護者が男親であるか女親であるかというところは基本属性の中には含まれないという理解でよろしいか。
- 社会教育課長： 3ページのところに調査書面の概要があり、母であるか、父であるか、その他であるかという分けはしてあるので、クロス集計は可能である。
- 教 育 長： 明らかに母が多いので、クロス集計をかけても統計的な有意差を導くにはサンプル数が少ないかもしれない。わかりました。そここのところは見落としていた。
- 後 藤 委 員： 私も質問がある。今のお話と関連するが、家庭の中でお父さんとお母さんが協力して教育していくという体制ができているのか。一般論で、父親のほうが忙しくて手がまわらないというような、父母の関係でバランスがうまく取れているのか否かというようなデータはあるのか。
- 社会教育課長： 今回の調査では、そのような観点で調査をしていないのでわからない。
- 藤 井 委 員： この設問自体は、静岡県が独自に考えたものばかりなのか。それとも、全国で統一されたものなのか。
- 社会教育課長： 静岡県独自の設問になる。一部10年前との比較があったので、10年前と同じものと、時代に合わせて変えているものがある。
- 藤 井 委 員： そうすると、全国ベースで同じような調査で対比することは難しいということか。
- 社会教育課長： 比較するデータがないと思う。
- 藤 井 委 員： それから、どちらかというところ、悩み事や困りごとなどをどうやって抽出するかというアンケートだと思うが、逆に、できていることをもっと伸ばすというようなことは把握できないのか。
- 社会教育課長： この調査では、そういった観点では聞けていない。
- 藤 井 委 員： そういった面もわかるのであれば、面白いと言ったら失礼だが、役に立つのではないかと思う。
- 教 育 長： 今回、10年ぶりの調査であるということを最初に強調されたが、10

年後静岡県として経年的な変化を見る調査を今後も行っていく予定であると考えるよいか。

社会教育課長： しっかり決めていないが、家庭教育支援は続けていくので、やはり経年的なことは観測していく必要があると思う。

教 育 長： 私が言いたいのは、10年というのはすごく長い時間で、5年刻みぐらいでやっていくほうがよいのではないかという気持ちがある。特に、ギガスクール構想で子供たちがタブレットを持つことが当たり前の景色になったここ数年の変化が、どのように子育てに影響するかというのはとても大きな課題だと考える。予算や人員の事などがあると思うが、10年後というよりも、今このタイミングで5年後ぐらいの状況を見るというふうなつもりでいたほうがよいのではないか。

社会教育課長： 前回の調査は、100万単位のお金をかけたが、今回の調査は、お金がない中でインターネットを活用した。もしかすると、サンプルの取り方に問題があるかもしれないが、お金がかからないやり方でやっているので、細かいスパンでの実施が可能であると思うので、ご意見を参考に考えたいと思う。

藤 井 委 員： 今回の調査では、保護者がどういう状態かという把握しかできていないが、その保護者に対して、生徒児童が同じ設問にどう感じているかというような対比は出来ていない。親がそう思っているつもりでも子供は思っていないとか、親が出来ていると思っっているつもりでも子供は思っていないというような、全く逆のケースもあると思う。

社会教育課長： 今回の調査ではできていないが、藤井委員のご指摘の趣旨はわかるので、どのように生徒、子供に焦点を当てて調査するか検討していく。

教 育 長： 他に質疑等はあるか。

全 委 員： (特になし)

教 育 長： 報告事項1を了承する。

(会議の非公開)

教 育 長： 会議を非公開とする。傍聴人は退席願う。

<非>第2号議案 静岡県立中央図書館協議会委員の任命

※ 非公表

教 育 長： 以上で、本定例会の議事は全て終了した。

これをもって、令和5年度第2回教育委員会定例会を閉会とする。